

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：社会福祉法人順和会 岩保育園	種別：保育所
代表者氏名：岡本和之	定員（利用人数）： 107名
所在地：岐阜県岐阜市岩田東2丁目102番地	
TEL：058-243-3790	ホームページ：https://iwaho.ed.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成23年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 順和会	
職員数	常勤職員： 21名 非常勤職員 0名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 17名
	看護師 1名
	調理員 3名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等）
保育室5 遊戯ホール1 一時預かり室1	
厨房1 職員室1 倉庫1 トイレ6 屋上園庭1	

③理念・基本方針（※転載）

【保育の理念】

明るく素直にのびのびと心豊かに「生きる力」を育てる

【基本方針】

子どもの安全と安心を基本として自ら伸びる力を大切に成長と個性に応じた多様性のある保育をする

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・生活指導として
十分に養護に行き届いた環境の下で、一人ひとりの欲求を満たし、情緒の安定を図っている。
- ・衛生管理として

各種環境衛生の定期検査をはじめ、日々の設備等の点検の実施、調理従事者の衛生管理への意識の徹底など、細心の注意を払った管理に努めている。

- 健康管理として
保健安全計画を作成し、常勤の看護師を配置して、子どもの健康管理を行っている。
- 人材の育成として
階層を一般保育士、職務分野別リーダー、専門リーダー、副主任保育士、主任保育士、施設長といった階層別に組織化し、さらに質の向上を図っている。
- 地域との交流として
近隣の高齢者施設や老人クラブ、小学校等と積極的に交流している。また、適切な指導や助言を行うためのマニュアルを整備しつつ、保育士の実習生や中学生の職場体験としても受け入れている。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 5 年 9 月 22 日（契約日） ～ 令和 6 年 3 月 31 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	3 回 （平成 30 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

<全体総評>

当園には30年前から、地域の高齢者施設と交流活動を行っている。当時は市の施設であったが、その地道な活動を関与した者として回想できる。あれから、市の保育所としての課題、民営化後の大変さや人材確保の困難さ、施設改修の課題と訪問するごとに、新たに生じる課題に向き合う姿が見られた。そして、今回再びこの園を訪れ、新しい園舎と世代交代した経営陣で、新たにより良い保育を目指してチャレンジする姿勢がうかがえた。その熱意の表れが質の向上につながるものと確信するものである。

<経験豊かな保育士たちによる保育実践が行われている。>

園の職員は、経験の積み重ねから保育の知見を培い、専門職集団として、子どもの発達の過程を受容的に見守りつつ、一人ひとりの状態に応じた保育実践に取り組んでいる。3歳未満児は複数担任制であり、子どもたちの様子が良くわかる職員が持ち上がりで担当することで、子どもに寄り添った保育を行っている。

<自然に恵まれた立地環境を保育に活かしている。>

屋上に上がれば、更に山の姿の変化と空気を満喫する事ができる等、四季の変化を隣接する山の本々の姿の変化から感じ取れるので、子どもたちがのびのびと元気に育つよう、日々の保育に活かしている。

<岐阜県福祉サービス第三者評価の受審にあたり積極的に取り組んでいる。>

岐阜県福祉サービス第三者評価を受審するにあたり、全職員がワンチームとして、一人ひとりが積極的に自己評価の実施を通して、保育実践を振り返り、保育のサービスの質の向上に取り組んでいる。

◇改善を求められる点

＜マニュアルのさらなる系統的な整備に期待したい。＞

各種マニュアル類の系統的な整理について、改善の余地があると考えます。保育サービスの標準化やサービスの継続性の観点から、今後とも、さらなる系統的な整備に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、自己評価の段階から日頃の保育や運営を見直す機会になって良かったと思います。また、保育実践全般について評価を頂くことにより、課題の気づきを得ることができました。今後、改善し、より質の高い保育を目指して努力していきたいと考えています。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。